



公津地区 社協だより

第23号 2023 2/15発行

〈主な内容〉

- 地域で支え合う仕組み「元気クラブ」スタート…1-2
- 今年も小・中学校で福祉体験学習を実施…………… 3
- 民生委員・児童委員が改選されました
フードパントリーになりました…………… 4

発行者 公津地区社会福祉協議会
責任者 宮本賢治
連絡先 04/76 (23) 15/3



元気クラブでみんなにあえて楽しい。
一日中一人、話し相手はテレビだけ。
あれも、これも、話したいことだらけ。

民生委員・児童委員が改選されました

委員と担当地区

片寄 照文	八代
泉水 康男	船形
小川 康子	北須賀
後藤 亮子	北方
丸 靖男	大袋
浅野 繁	江井須
折原 修一	江井須台クラシード
伊藤 幸二	飯田町西部
江波 弘美	飯田町東部
石原 幸二	飯田町南部
木下 勤	旭ヶ丘
木多 孝夫	東向台
竹尾 茂	並木町南部
宮倉 正教	並木町中央
吉田 静香	並木町北部
秋山 孝子	並木町ライオンズ
中野 隆美	並木町東部
宮本 賢治	並木町大久保台
村嶋 保美	飯仲
木村 芳江	宗吾第1・第4
吉岡 加代	宗吾第2・第3
大司 加代	宗吾台
棚田 薫子	公津の杜1丁目
遠藤 美代治	公津の杜2丁目
小川 忠	公津の杜3丁目
池田 光恵	公津の杜5丁目
石橋 清己	公津の杜6丁目
生田 香代子	主任児童委員

3月25日開催

三年に一度12月に改選された民生・児童委員に新たな顔ぶれが加わりました。
委員は、地区の皆様と市役所担当課との橋渡し役を務めます。
生活上の問題や支援、高齢者の介護や支援など様々な相談事が発生した場合は委員にお問い合わせください。

フードパントリーなりた
コロナの影響で生活にお困りの方や、ひとり親世帯の市民を対象とした「フードパントリーなりた」(事前申込制)を開催しています。
企業や地域の皆様からご寄付いただいたお米や災害備蓄品、生活用品等を対象者へ配布しています。
当日会場では「暮らしサポートなりた」相談員が生活相談に応じ、子ども食堂等の支援団体チラシなど情報提供も行っていきます。

参加者(配布申込者の約7割)が子育て世帯で、学校給食が終る長期休暇の開始時期に合わせて



て一時的な食糧などを支援して
ます。
また、他の支援の必要な方の情報をつなげる場ともなっています。
問い合わせ先 社会福祉協議会
TEL(27)7755

社会福祉協議会担当者の声
「寄付をくださる方の中には、宅配便を使ったりして、何度もお協力してくださる方や、窓口に来て「自分もお世話になるかも？」と笑顔で話される方もいます。
現在、食品類でご協力いただいた物として、すぐに食べられるようなカップラーメン・レトルトカレー・缶詰等があげられます。

募集

フードパントリー当日の運営や寄贈品の仕分け等をお手伝いいただける、ボランティアを募集しています。
問い合わせ先
成田市ボランティアセンター
TEL(27)8010

編集後記

マスク生活の中、自然と外出が減り運動不足による転倒や骨折等が増えているそうです。寒くなると血流も悪くなりがちです。できる範囲で散歩や体操など身体を動かすことが大事です。早く元の日常生活に戻りたいものです。

各地区で「元気クラブ」を計画しています。コロナ感染の心配をすることなく活動できる日の早からんことを！
また会える日を楽しみにしています。

〈編集委員〉

- 浅野 恵美子
- 小川 康子
- 折原 繁
- 鎌田 薫
- 清宮 英雄
- 谷 亮子



地域で支え合う仕組み「元氣クラブ」スタート

介護予防につながる居場所づくりの取り組み「元氣クラブ」が9月に宗吾台地区で、10月に宗吾地区で開催されました。

第1回 宗吾台元氣クラブ

開催日時	9月12日(月) 9:30~11:30
開催場所	宗吾台コミュニティホール
参加者数	19名
スタッフ	西部西地区包括支援センター：2名、宗吾台自治会：3名、民生委員：1名
内容	勉強会「後期高齢者医療保険の話」(成田市保健年金課の方)オリエンテーションと健康チェック

- 受付で名簿の名前確認と検温、名札シールに氏名を記名。
- 司会進行は宗吾台老後安心委員会会長と西部西地区包括支援センターの木下さんが行いました。
- 勉強会では高齢者の負担が増えているのはどうしてか、どのような法律によるものか、などの質問が出され積極的な勉強会でした。この勉強会についてのアンケート結果では、17名の方が「参考になった」と回答。
- 休憩時間には、参加者が和気あいあいとお話をされて楽しそうでした。

参加者の感想



- 次回が楽しみです。
- 毎回出席したいと思いました。
- 普段お会いできない方と会えたことも良かったです。
- 次回も参加したいです。
- また保険制度の変更があったら教えてほしいです。



健康作り-足上げ体操30秒-(宗吾地区)



医療費制度について真剣に学習(宗吾台地区)

はじめは緊張、
後にはこやかに

今年も小・中学校で福祉体験学習を実施

困っている人に手を差し伸べたい

西中学校で福祉体験学習

11月10日、西中学校1年生4クラスを対象に福祉体験学習が行われました。車椅子の介助、アイマスクを着けて白杖での歩行、そして、食事の時のクロックポジションの声かけなど3つの体験を行いました。

最近、健常者の歩きスマホで白杖で歩行している視覚障がい者に気付かず、ぶつかることが多くなり、視覚障がい者にとっては点字ブロックの上を歩いていても恐怖であるといったことを耳にします。

周りの人への関心が薄くなりコミュニケーションが希薄にならなきてきている昨今、中学生の時期に、障がいを持つ方の立場に立つて物事を考えサポートの仕方をするのが益々重要になってきています。当日、生徒の皆さんはお互い声を掛け合うなど真剣に取り組んでいました。

この体験がきっかけとなり、身体の不自由な方が困っている時に温かい声かけや手を差し伸べられる人になって欲しいと思います。



車椅子の模範動作を学ぶ

生徒の感想
アイマスクを着けたら目の周りが真っ暗になり、不安だけが募りました。介助をしてくれるパートナーがいるだけで、安心して白杖での歩行ができ、また車椅子の介助は大変で、また坂の上を押す時は重たくて、下り坂の時はスピードが出てしまいました。障がい者の方はこのような状況で生活しているんだなということが分かりました。町中で障がい者の方が困っている時には積極的に手を差し伸べていきたいと思えます。

(男子生徒)



腰をかけた後、次は足をステップに



ちょっとした段差が越せない

平成小学校で福祉体験学習
12月2日、5年生3クラスの児童を対象に福祉体験学習が行われ、真剣な中にも明るく元気に体験メニューをこなしていました。

子供達から「祖母が高齢で車椅子を押しているのでもっと早く扱い方を教えてほしいかった」と、「祖母が階段を怖がって下りられなくなったことを思い出してアイマスクをした時と同じなんだ」という声も聞かれました。

(女子児童)



凸凹を確認して止まる



曲がったらこの先まっすぐ



紙幣の角、記号に触れると金額がわかるよ